

編集後記

■ 編集委員

飯森真喜雄

井上 新平

小島 卓也

小阪 憲司

松本 英夫

松岡 洋夫

三國 雅彦

山崎 晃資

(ABC 順)

国連は、本年 4 月 2 日を「世界自閉症啓発デー」と制定し、潘基文事務総長は次のようなメッセージを発表した。

『…障害を持つ子どもたちの普遍的人権の推進にあたり、将来のコミュニティの正式な一員として、こうした子どもたちが活躍できるような環境の整備に全力を尽くすではありませんか。決意や創造性、そして希望を持って、毎日、自閉症に立ち向かい続けている子どもたちとその家族に敬意を払おうではありませんか。そして、そのエンパワーメントとニーズへの対応に今すぐ取り組むことで、将来の子どもたち全員がより広く参加し、能力を発揮し、権利を行使できるような社会を作っていこうではありませんか』

同日、外添要一厚生労働大臣もメッセージを発表した。国連が特定の疾患を啓発する日を決議したのは、エイズ、糖尿病に次いで 3 つ目である。それだけ自閉症は世界的に重要な問題となっており、まだまだ難解な領域であることを意味しているのである。

また、本年 4 月 1 日、「児童精神科」の診療科名標榜が正式に認められた。長年、児童青年精神科医療に従事してきた私たちの念願がやっと叶えられたものであり、感慨無量である。

1981 年、Lorna Wing は、Asperger (1944) の「自閉的精神病質」にいくつかの修正を加えて「アスペルガー症候群」として再登場させた。その後、アスペルガー症候群に関する関心が急速に高まり、アスペルガー症候群と診断される例が急激に増えている。今や少しでも「変わった人」がいると、安易にアスペルガー症候群としてしまう傾向さえある。Wing 自身が『パンドラの箱を開けてしまった』と述べているように、アスペルガー症候群は Wing の当初の意図から逸脱し、予想もしなかった方向へと議論が進み始めている。

そこで本誌では、「成人期のアスペルガー症候群」についての特集を組み、2 号にわたって掲載することにした。本号は、その第一弾である。さまざまな立場からの議論が展開され、興味深いものとなった。

本号の「巻頭言」(下田和孝氏)をおもしろく読ませていただいた。最近の若い精神科医とのつき合い方に、どの大学の教授もそれぞれに悩み、工夫している様がよくわかる。「展望」(結城敬氏)では吃音研究を取り上げていただいた。これまで精神医学関係の専門誌では、ほとんど取り上げられてこなかったテーマである。精神科臨床の場に登場することは少ないが、吃音の人々は多く、日常生活の中で悩み、一言では言い尽くせぬ努力をしながら問題を乗り越えようとしていることを、精神科医の方々にぜひ知っていただきたいものである。(K.Y.)

精神医学 (第 50 巻 第 7 号)

2008 年 7 月 15 日号 (毎月 1 回 15 日発行)

1 部定価 2,625 円 (本体 2,500 円 + 税 5 %)

2008 年年ぎめ予約購読料 30,600 円 (送料弊社負担)

☎ 販売部直通 (03) 3817-5659・5660

振替口座 00170-9-96693

発行 株式会社 医学書院 代表者 金原優

☎ 113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

☎ 編集室直通 (03) 3817-5711 (担当) 三由・山崎

Fax (03) 3815-7802

E-mail seishinigaku@igaku-shoin.co.jp

URL <http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/seishin/>

印刷所 三美印刷(株) 電話 (03) 3803-3131

広告申込 (株) 丹水社 電話 (03) 3561-1323

・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2008, Printed in Japan.

・ 本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。

・ JCLS (株)日本著作出版権管理システム委託出版物

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に(株)日本著作出版権管理システム(電話 03-3817-5670, FAX 03-3815-8199)の許諾を得てください。

・ 医学書院ホームページ(インターネット)は <http://www.igaku-shoin.co.jp> です。